



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 アリアケジャパン株式会社

コード番号 2815 URL <http://www.ariakejapan.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田川 智樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室 部長 (氏名) 宮川 明夫

TEL 03-3791-3301

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	20,072	18.1	2,867	29.6	2,266	△0.3	1,004	3.4
22年3月期第3四半期	17,001	1.0	2,213	△2.5	2,273	242.0	971	645.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	31.57	—
22年3月期第3四半期	30.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
23年3月期第3四半期	50,724		40,604		79.6		1,268.76	
22年3月期	52,561		42,088		79.6		1,314.97	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 40,382百万円 22年3月期 41,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年3月期	—	20.00	—		
23年3月期 (予想)				20.00	40.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,600	20.6	4,130	42.3	4,100	38.2	2,060	59.2	64.72

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	32,808,683株	22年3月期	32,808,683株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	980,109株	22年3月期	979,644株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	31,828,574株	22年3月期3Q	31,829,294株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しており、平成23年2月7日付で四半期レビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年12月31日)におけるわが国経済は、企業収益が持ち直しの兆しを見せるなど、緩やかながらも着実な景気回復が期待されましたが、政府の消費刺激政策が一巡するにつれ、再び先行きが不透明となりました。

食品業界におきましても、消費者の低価格志向の高まりから企業間の競争は一層激化しており、厳しい環境下での経営を強いられています。

このような状況のもと、当社グループは顧客のニーズを的確に掘り起こして拡販を図り、収益確保に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年12月31日)の経営成績は、以下のとおりとなりました。

まず売上高は、当社(アリアケジャパン(株))は、顧客本位の積極的な営業活動が奏功して、前年同期比13.5%増(2,051百万円増)の17,246百万円となりました。

また連結売上高は全世界の子会社が増収となったこともあり、前年同期比18.1%(3,071百万円増)の20,072百万円となりました。

次に経常利益に関しましては、当社は売上高増加による利益増加があったものの、原料費が増加(約269百万円)したほか、輸入取引の為替変動をヘッジする目的で契約しているデリバティブ取引の評価損失が増加(前期19百万円の評価益、今期313百万円の評価損)し、更にデリバティブ評価損失以外の為替差損も増加(前期90百万円、今期422百万円)しており、当社の経常利益は前年同期比177百万円減(前年同期比5.9%減)の2,825百万円となりました。

連結経常利益は、海外子会社の業績好転によって当社の減少を相殺し、前年同期比7百万円減(前年同期比0.3%減)の2,266百万円となりました。

四半期純利益につきましては、当社は前年同期比100百万円減(前年同期比5.9%減)の1,610百万円となり、また連結四半期純利益は、前年同期比33百万円増(前年同期比3.4%増)の1,004百万円となりました。

地域別の売上高と経常損益は次のとおりです。

・売上高

(単位:億円)

	平成23年3月期第3四半期	平成22年3月期第3四半期	差 額
アリアケジャパン(株)	172.5	151.9	20.6
米 国	8.3	4.7	3.6
ア ジ ア	12.2	9.5	2.7
欧 州	4.4	1.0	3.4
日 本	3.3	2.9	0.4
子会社計	28.2	18.1	10.1
合 計	200.7	170.0	30.7

・経常利益

(単位:億円)

	平成23年3月期第3四半期	平成22年3月期第3四半期	差 額
アリアケジャパン(株)	28.3	30.0	△1.7
米 国	△0.8	△1.4	0.6
ア ジ ア	1.4	0.6	0.8
欧 州	△6.3	△6.5	0.2
日 本	0.0	0.0	0.0
子会社計	△5.7	△7.3	1.6
合 計	22.6	22.7	△0.1

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,837百万円減少し、50,724百万円となりました。

負債は、主として短期借入金及び未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ354百万円減少し、10,119百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,483百万円減少し、40,604百万円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が2,257百万円(前年同期比0.6%減)及び減価償却費等により、当四半期連結会計期間末には資金残高は10,269百万円となり、前連結会計年度末より755百万円の増加となりました。

当四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,257百万円、減価償却費1,341百万円、及び法人税等の支払額2,072百万円等により545百万円(前年同期比1,831百万円減)の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出383百万円及び満期保有目的の債券の取得による支出3,014百万円等の結果、1,768百万円の収入(前年同期は1,541百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出等により1,162百万円(前年同期比503百万円増)の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績については、現時点では平成22年11月9日開示の数値から変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,269,411	14,716,688
受取手形及び売掛金	6,675,501	4,839,007
有価証券	1,007,697	—
商品及び製品	1,688,083	1,466,383
仕掛品	510,326	477,646
原材料及び貯蔵品	1,577,023	1,523,951
繰延税金資産	160,229	160,229
その他	333,734	153,733
貸倒引当金	△3,566	△1,747
流動資産合計	22,218,441	23,335,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,278,921	19,618,002
減価償却累計額	△7,734,896	△7,330,835
建物及び構築物(純額)	11,544,025	12,287,166
機械装置及び運搬具	20,112,006	20,105,024
減価償却累計額	△14,336,061	△13,789,819
機械装置及び運搬具(純額)	5,775,944	6,315,205
土地	4,405,841	4,507,186
リース資産	6,100	6,100
減価償却累計額	△847	△84
リース資産(純額)	5,252	6,015
建設仮勘定	440,242	1,099,246
その他	812,474	818,326
減価償却累計額	△724,384	△710,677
その他(純額)	88,089	107,648
有形固定資産合計	22,259,396	24,322,469
無形固定資産	103,759	125,598
投資その他の資産		
投資有価証券	4,704,178	3,265,645
長期貸付金	252,422	388,245
投資不動産(純額)	546,902	551,318
繰延税金資産	145,898	—
その他	493,087	572,664
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	6,142,401	4,777,787
固定資産合計	28,505,558	29,225,855
資産合計	50,724,000	52,561,748

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,750,136	2,293,803
短期借入金	3,357,777	3,654,718
リース債務	1,005	977
賞与引当金	55,804	152,517
未払法人税等	412,113	1,258,123
役員賞与引当金	—	52,700
その他	2,332,921	1,688,315
流動負債合計	8,909,759	9,101,156
固定負債		
退職給付引当金	570,014	570,552
役員退職慰労引当金	293,798	281,474
リース債務	4,628	5,386
繰延税金負債	77,030	175,488
その他	264,257	339,454
固定負債合計	1,209,728	1,372,356
負債合計	10,119,487	10,473,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,095,096	7,095,096
資本剰余金	7,833,869	7,833,869
利益剰余金	28,793,963	29,062,185
自己株式	△2,058,860	△2,058,368
株主資本合計	41,664,067	41,932,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	283,126	635,334
為替換算調整勘定	△1,564,383	△713,897
評価・換算差額等合計	△1,281,257	△78,563
少数株主持分	221,701	234,015
純資産合計	40,604,512	42,088,234
負債純資産合計	50,724,000	52,561,748

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	17,001,609	20,072,675
売上原価	11,654,633	13,766,586
売上総利益	5,346,976	6,306,089
販売費及び一般管理費	3,133,829	3,438,895
営業利益	2,213,147	2,867,193
営業外収益		
受取利息	31,945	34,975
受取配当金	58,069	60,625
受取家賃	20,122	20,151
有価証券売却益	14,803	—
その他	151,414	118,276
営業外収益合計	276,355	234,028
営業外費用		
支払利息	29,947	41,407
為替差損	90,333	444,884
デリバティブ評価損	—	313,441
海外新事業費用	37,618	—
その他	57,955	35,428
営業外費用合計	215,855	835,162
経常利益	2,273,647	2,266,059
特別損失		
投資有価証券評価損	2,137	546
固定資産除却損	—	7,746
特別損失合計	2,137	8,292
税金等調整前四半期純利益	2,271,509	2,257,766
法人税等	1,302,722	1,248,549
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,009,216
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,823	4,280
四半期純利益	971,610	1,004,936

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	6,379,290	7,630,135
売上原価	4,306,368	5,198,916
売上総利益	2,072,922	2,431,219
販売費及び一般管理費	1,090,242	1,193,133
営業利益	982,679	1,238,085
営業外収益		
受取利息	9,353	11,996
受取配当金	28,429	28,999
受取家賃	6,247	6,166
デリバティブ評価益	147,112	—
その他	41,085	21,539
営業外収益合計	232,228	68,702
営業外費用		
支払利息	9,619	11,768
為替差損	—	197,925
デリバティブ評価損	—	32,925
海外新事業費用	11,605	—
その他	24,140	2,619
営業外費用合計	45,365	245,239
経常利益	1,169,542	1,061,548
特別利益		
投資有価証券評価益	—	2,149
特別利益合計	—	2,149
特別損失		
投資有価証券評価損	2,137	—
固定資産除却損	—	3,910
特別損失合計	2,137	3,910
税金等調整前四半期純利益	1,167,404	1,059,788
法人税等	589,657	534,776
少数株主損益調整前四半期純利益	—	525,011
少数株主利益	2,486	2,875
四半期純利益	575,260	522,135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,271,509	2,257,766
減価償却費	1,471,686	1,341,989
のれん償却額	14,746	14,746
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	776	1,819
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,960	△538
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,865	12,324
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△96,263	△96,713
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△59,700	△52,700
受取利息及び受取配当金	△90,015	△82,859
支払利息	29,947	41,407
為替差損益 (△は益)	138,974	350,573
有価証券売却損益 (△は益)	△14,803	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,137	546
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,246,754	△1,878,737
たな卸資産の増減額 (△は増加)	360,921	△358,971
仕入債務の増減額 (△は減少)	526,132	467,585
その他	△282,635	553,464
小計	3,012,838	2,571,704
利息及び配当金の受取額	90,015	86,761
利息の支払額	△29,947	△41,407
法人税等の支払額	△696,076	△2,072,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,376,828	545,042
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	5,162,232
有価証券の取得による支出	—	△1,014,760
有価証券の売却による収入	102,273	—
有形固定資産の取得による支出	△1,047,923	△383,214
投資有価証券の取得による支出	△264,922	△2,024,142
貸付けによる支出	△355,150	△17,780
貸付金の回収による収入	29,708	52,253
その他	△5,631	△5,724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,541,645	1,768,863
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	578,249	104,285
自己株式の取得による支出	△706	△834
自己株式の売却による収入	—	280
配当金の支払額	△1,237,241	△1,266,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△659,697	△1,162,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△138,706	△395,389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	36,779	755,538
現金及び現金同等物の期首残高	8,209,823	9,513,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,246,602	10,269,411

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

各種天然調味料の製造、販売事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	15,480,336	1,521,272	17,001,609	—	17,001,609
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,588	632,997	635,585	(635,585)	—
計	15,482,925	2,154,269	17,637,195	(635,585)	17,001,609
営業利益(又は営業損失)	3,006,503	(773,064)	2,233,439	(20,292)	2,213,147

(注) 1. 国又は地域の区分は、経済活動の類似性によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他の地域……米国、中華人民共和国、中華民国、フランス共和国、ベルギー王国

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

当社グループは、天然調味料事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。